

全建発第7-163号
令和7年10月8日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大石久和
(公印省略)

第719回建設技術講習会（i-Constructionとインフラ分野のDX）
開催のご案内について

謹啓 本協会事業について、平素よりご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記建設技術講習会を別紙のとおり開催いたします。

本講習会は、これからの建設行政と公務員技術者、i-Constructionとインフラ分野のDX、AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来、建設業界で進む生産性向上策への考え方とデバイスの上手な活用方法、ICTの先進的な取組、官庁営繕事業におけるBIM等の生産性向上の取組、施工のオートメーション化等について学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640
MAIL kensyu@zenken.com

全建発第7-164号
令和7年10月8日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和
(公印省略)

第719回建設技術講習会 (i-Constructionとインフラ分野のDX)
開催のご案内について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協会は、国土交通省・農林水産省をはじめ、都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約5.6万名で構成されています。

建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上、連携・交流の促進を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び、良質な社会資本の整備・保全を通じて、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本協会の講習会は、道路、河川等各部門の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからのインフラの維持管理・更新等、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げております。また、講師には建設行政等の各分野に造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察等、業務に直接役立つ内容となっております。

この度の標記建設技術講習会は、これからの建設行政と公務員技術者、i-Constructionとインフラ分野のDX、AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来、建設業界で進む生産性向上策への考え方とデバイスの上手な活用方法、ICTの先進的な取組、官庁営繕事業におけるBIM等の生産性向上の取組、施工のオートメーション化等について学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨をご理解の上、本講習会を研修の一環としてご活用いただき、貴機関職員のご参加についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640
MAIL kensyu@zenken.com

第719回建設技術講習会のポイント



インフラ分野のDXの背景から最新の取組事例まで

○開催日：令和7年12月10日（水）～12月22日（金）

○開催場所：長崎県長崎市

○テーマ：i-Construction とインフラ分野のDX

○主な講義内容

- ・土木学会元会長 谷口氏が語る「これからの建設行政と公務員技術者」
- ・ICT・インフラ分野のDXについて、国土交通省の講師が解説！
- ・毎年好評の東京大学 ^{ちよん}全特任教授による「AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来」
- ・建築部門の技術者必聴！「官庁営繕事業におけるBIM等の生産性向上の取組」

○現場研修

- ・ICT施工技術を活用した掘削や盛土工事を実施 長崎南環状線道路改良工事（新戸町～江川町工区）[長崎県]
- ・国際観光都市長崎の玄関口にふさわしい都市拠点を形成 長崎駅周辺土地区画整理事業 [長崎市]
- ・最新のダム形式「台形CSGダム」CIMやDXを活用した効率的な施工が進む

本明川ダム建設事業 [九州地整]

第719回建設技術講習会(i-Constructionとインフラ分野のDX)概要

～i-Constructionの推進とICT等の新技術を活用した生産性向上の取組、
インフラ分野のDXの推進について学ぶ～

会場 …… ベネックス長崎ブリックホール(国際会議場)

〒852-8104 長崎県長崎市茂里町2-38 ☎095-842-2002

(1日目)	開場11:40	令和7年12月10日(水)	(敬称略)
12:40 }	あいさつ	長崎県知事	大石賢吾
13:00		長崎市長 (一社)全日本建設技術協会 参事	鈴木史朗 柿崎恒美
13:00 }	これからの建設行政と公務員技術者	(公社)土木学会第109代会長	谷口博昭
14:30		芝浦工業大学客員教授 (一社)国土政策研究会 会長	
14:40 }	i-Constructionとインフラ分野のDX	国土交通省大臣官房参事官(イノベーション)	西上康平
15:40		グループ課長補佐	
15:50 }	AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来	東京大学特任教授	全 邦 釘
16:50			
17:30 }	「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」<希望者のみ>		
19:00	ベネックス長崎ブリックホール ラウンジ		
2日目	9:00	12月11日(木)	(敬称略)
9:40 }	建設業界で進む、生産性向上策への考え方とデバイスの上手な活用方法	株式会社大林組	杉浦伸哉
10:40		ビジネスイノベーション推進室	
10:50 }	ICTの先進的な取組	国土交通省九州地方整備局	杉田 聡
11:50		建設情報・施工高度化技術調整官	
13:00 }	官庁営繕事業におけるBIM等の生産性向上の取組	国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課	橋本幸治
14:00		施設評価・デジタル高度化推進室企画専門官	
14:10 }	【地域事業の紹介①】 長崎南環状線道路改良工事(新戸町～江川町工区)	長崎県長崎振興局建設部道路建設課係長	佐藤貴文
14:30			
14:30 }	【地域事業の紹介②】長崎駅周辺のまちづくり	長崎市まちづくり部長崎駅周辺整備室長	松尾英幸
14:50			
14:50 }	【地域事業の紹介③】本明川ダム事業の概要について	国土交通省九州地方整備局	染矢 晃
15:10		本明川ダム工事事務所調査設計課長	
15:20 }	施工のオートメーション化に向けて ～自動施工・ICT施工Stage II等～	国土交通省大臣官房参事官(イノベーション)	中根 亨
16:20		グループ施工企画室課長補佐	
16:20 }	閉会のあいさつ	長崎県土木部建設企画課長	金子哲也
(3日目)	8:10	12月12日(金)	【現場研修】
長崎県庁 海側(おのうえの丘 臨港道路) (8:30) 出発			
→ 長崎南環状線道路改良工事(新戸町～江川町工区) [長崎県]			
→ 長崎駅周辺土地区画整理事業 [長崎市]			
→ 昼食(長崎市内) → 本明川ダム建設事業 [九州地整]			
→ 長崎空港(15:10) / JR新大村駅(15:30) / JR長崎駅(16:10) 着後解散			

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD制度(建設系CPD協議会加盟) : 聴講8.5単位 / 現場1.25単位

第719回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 長崎南環状線道路改良工事（新戸町～江川町工区） [長崎県]

…………… 長崎県長崎市

- ・長崎南環状線は、長崎市南部地域と市中心部を結ぶ、延長約2.1kmの（仮称）江川トンネルを含む、延長約5.2kmの高規格道路。
- ・本道路の整備により、国道499号の慢性的な交通渋滞の解消、安全性の向上、救急搬送の向上、地域の観光・経済活動の活性化等の効果が期待される。
- ・ICT施工技術を活用した掘削や盛土工事が新戸町ICT工区などで行われている。



2 長崎駅周辺土地区画整理事業 [長崎市]

…………… 長崎県長崎市

- ・長崎市では、西九州新幹線の開業などを契機に、まちが「100年に1度の変革期」を迎えている。
- ・本事業では、連続立体交差事業により移転される車両基地の跡地などを含めた約19.1haの区域において、鉄道施設の受け皿を整備するとともに、道路や駅前広場などの基盤整備を行い、土地利用の転換・有効利用を図り、国際観光都市長崎の玄関口にふさわしい都市拠点形成する。
- ・視察時は国道202号歩道橋の橋梁附属物工・橋面工を施工中。周辺施設や景観に配慮したデザイン性の高い歩道橋を整備している。



3 本明川ダム建設事業 [九州地整]

…………… 長崎県諫早市

- ・本明川ダムは、長崎県諫早市を流れる本明川に建設されるダム。日本で最も新しいダム形式である「台形CSGダム」で計画されている。
- ・本明川地域は、過去には昭和32年の諫早大水害など、大きな洪水が発生しているほか、渇水による被害もたびたび発生しており、本ダムは、主に洪水調節による諫早市街地などの氾濫被害の軽減や、渇水時の本明川の流量確保を目的としている。
- ・令和6年度にダム本体工事着工、現在は基礎掘削工を施工中。CIMやDXを活用した効率的な施工が進められている。（写真は完成イメージ）



第719回建設技術講習会【聴講】について

1. 申込み方法：以下の専用ページからお申込みください
https://niccs.nishitetsutavel.jp/ntc_evt_reception/app/QG01249201
※専用ページ内のFAQ及び「操作方法のご案内」をお読みください。
前開催から操作方法の変更がある場合がありますので必ずご確認ください。
次頁「7. お申込み（入力内容）についてのご注意」もご確認ください。
2. 聴講料：以下の表をご確認ください（金額は税込み）。
一般（非会員）／会員の確認をしますので、お間違えのないようご注意ください。

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,800円	13,700円	13,700円	13,700円
開催県内に勤務されている方	13,700円※3	2,100円	2,100円※2	—
開催県内の市町村職員※1	2,100円	0円	—	—
開催地区連合会管内の市町村職員※1	18,800円	2,100円	—	—
30歳未満の方	18,800円	2,100円	—	—
開催県内の学生	0円	—	—	—

※1 政令市職員は対象外です。

※2 特別会員は開催県内に勤務又は在住の方が対象です。

※3 非会員は国・県・政令市に勤務の方のみが対象です。

3. 聴講料の振り込み

次の銀行口座にお振り込みください（振り込み手数料はご負担願います）。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シヤ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

（お願い）

お振り込み名義は、719（開催回数）＋参加者名（複数名分の場合は協会名）と
してください。（例：「719ヤマダ タロウ」「719サイタマケン」）

手続き上、不可能な場合はkensyu@zenken.com まで振り込み日と名義をお知らせ
ください。

- ・聴講料は原則、受付確認のメール受信後から開催前日までの間にお振り込みをお願いします。
- ・お振り込み後、銀行振り込みの控え等を kensyu@zenken.com へ送付してください。
- ・会場でのお支払いはご遠慮願います。

4. 申込み締切り：令和7年11月12日（水）正午まで（必着）

上記の後に行われたお申込みは受理できない場合がありますので、
お申込み前に必ずご相談の連絡をお願いします。

5. 変更・取消し：全建・西鉄旅行 共用アドレス

Mail: nishitetsu@zenken.com までご連絡ください。
なお、取消しの場合は以下の取消料が生じます。

取消し日	取消し料
7日前～前日	聴講料の 50%
当日	聴講料の 100%

講習会終了後、所属協会等の指定口座へ取消し料及び振り込み手数料を差し引いた金額をご返金します。

なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消しの場合は、取消し日に関わらず全額（振り込み手数料は本会負担）をご返金します。

6. その他

- ・聴講会場への大きな荷物の持ち込みは、出来るだけご遠慮ください。
- ・テキストは当日受付にてお渡しします。
- ・受講証は各日の講義終了後にお渡しします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険をお掛けします。ただし、開催 14 日前以降の申込み及び変更後の参加者については対象外となりますのでご了承ください。
- ・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ (<http://www.zenken.com/>) をご覧ください。

7. お申込み（入力内容）についてのご注意

(以下の入力についての間違ひが多くなっています)

- ・「地方協会＊」欄は、プルダウンの 1)～8)の中から、所属する地方協会等が所在する地区を1つ選択した後、次に表示されるプルダウンで**所属機関名**を選択してください。
(所属機関が選択肢にない場合のみ、所在する都道府県を選択してください。)
- ・申込者と参加者が異なる場合は、「申込者名／参加者名」欄に表示されている「申込者名（漢字表記）」を「**参加者名**」に**上書き**してください。また、「参加者名（カナ）」欄には参加者名をカタカナで入力してください。
- ・変更・取消しの際は、必ず以下まで**メールにてご連絡**ください。
Mail: nishitetsu@zenken.com

8. お問い合わせ先

- ① 聴講・現場研修の内容等について
(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
TEL 03-3585-4546 E-MAIL kensyu@zenken.com
登録番号：T4010405000433
- ② 現場研修の申込み
「第719回建設技術講習会【現場研修】について」に記載しています。
- ③ 宿泊斡旋の申込み
「宿泊斡旋のご案内」に記載しています。

第 7 1 9 回建設技術講習会【現場研修】について

1. 日程：令和 7 年 1 2 月 1 2 日（金）8:30～16:10

集合（乗車）8:10～

長崎県庁 海側（おのうえの丘 臨港道路）（8:30）出発

→ 長崎南環状線道路改良工事（新戸町～江川町工区）[長崎県]

→ 長崎駅周辺土地区画整理事業 [長崎市]

→ 昼食（長崎市内）→ 本明川ダム建設事業 [九州地整]

→ 長崎空港（15:10）／J R 新大村駅（15:30）／J R 長崎駅（16:10）着後解散

※現場研修のみの参加はできません。

※上記行程は都合により変更となる場合があります。

2. 添乗員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員及び西鉄旅行(株)添乗員

3. 現場研修料：10,900円（税込）

※昼食の費用は含まれていません

（飲食施設等にご案内後、各自で自由昼食となります）。

4. 申込み方法：聴講と併せて、以下の専用ページからお申込みください。

https://niccs.nishitetsutransport.jp/ntc_evt_reception/app/QG01249201

※専用ページ内のFAQ及び「操作方法のご案内」をお読みください。

前開催から操作方法の変更がある場合がありますので必ずご確認ください。

特に、現場研修料のお支払い方法については、「操作方法のご案内」を必ずご確認ください。

5. 申込み締切：令和 7 年 1 1 月 1 2 日（水）正午まで（必着）

上記の後に行われたお申込みは受理できない場合がありますので、お申込み前に必ずご相談の連絡をお願いします。

6. 変更・取消し：全建・西鉄旅行 共用アドレス

Mail: nishitetsu@zenken.com までご連絡ください。

なお、取消しの場合は以下の取消し料が生じます。

取消し日	取消し料
10日前～8日前	現場研修料の20%
7日前～前々日	現場研修料の30%
前日	現場研修料の40%
当日	現場研修料の50%
無連絡不参加及び開始後	現場研修料の100%

7. 現場研修申込についてのお問合せ：西鉄旅行（株）全建担当デスク
Mail: zenken@nnr-g.com TEL 03-6742-0325
8. 現場研修の内容等のお問合せ：（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
Mail: kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546
9. 旅行企画実施：西鉄旅行（株）東京団体支店
東京都港区東新橋1-8-3 汐留エッジ8階
TEL 03-6742-0325 FAX 03-6742-0328 MAIL zenken@nnr-g.com
登録番号：T2290001009530
観光庁長官登録旅行業第579号 （一社）日本旅行協会正会員
10. その他：
- ・ヘルメットの持参は不要です。必要な現場がある場合には全建にてご用意します。
 - ・視察資料は現場研修の当日、集合場所にてお渡しします。
 - ・参加証は全行程の終了後にお渡しします。
 - ・参加者には国内旅行傷害保険をお掛けします。ただし、開催 14 日前以降の申込み及び変更後の参加者については対象外となりますのでご了承ください。
 - ・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
 - ・詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込みください。

【講習会会場及び現場研修集合場所等 案内図】



第719回建設技術講習会に参加の皆様へ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



本協会主催の建設技術講習会・実地研修会には、全国各地から多くの皆様にご参加いただいています。

この機会に参加者同士が交流を深め、意見・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に活かしていただくため「参加者同士の交流会」を開催します。

この交流会は、講師の方々にもご参加いただき、直接質問や交流が出来る場としています。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和7年12月10日（水） 17：30 ～ 19：00（予定）

場所：ベネックス長崎ブリックホール ラウンジ
（会場及び現場研修集合場所案内図 参照）

会費：2,000円
（受付時にお支払いください）

※都合により、開催を中止とする場合があります。

※参加希望人数によって、開催を中止とする場合があります。

※開催時間は変更になることがあります。

その際は開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は、申込ページの「交流会」欄の「参加する」を選択して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装は特に問いません。



1. 参加者同士の交流促進を図る

①参加者の知見と人脈を広げる（名刺交換） ②意見交換・情報交換

2. 講師との交流・懇談 ※参加講師は都合により変更になる場合があります。

参加予定の講師：谷口 博昭氏、国土交通省 西上氏、東京大学 全氏、九州地方整備局 杉田氏、長崎県 佐藤氏

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

宿泊斡旋のご案内

参加者には、西鉄旅行(株)が開催地ホテルの宿泊斡旋をいたします。
講習会参加のお申込みと併せて、下記ページからお申込みください。

https://niccs.nishitetsutransport.co.jp/ntc_evt_reception/app/QG01249202

お問合せ先：西鉄旅行（株）東京団体支店 全建担当デスク
Mail：zenken@nnr-g.com
TEL：03-6742-0325

お申込み後の宿泊予約の取消や変更については、上記までご連絡ください。